

# 福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子  
第3号 令和4年6月1日

甘楽町立福島小学校  
校長 中島 剛

## ○雨模様にアジサイがよく似合います ～雨傘の出番です～

水を張った田んぼには規則正しく稲が並び、初夏の美しい光景が広がっています。もうすぐ梅雨入りを迎え、アジサイやバラが雨露で光り輝く季節です。保護者の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。子どもたちは、傘をさしての登下校が増えるので、安全を確認して車には十分に気をつけてほしいと思います。

新型コロナも少しずつ収束の兆しが見え始め、県の警戒レベルも「1」に引き下げられました。また、文部科学省の通知では、熱中症を考慮し、人との距離をとっていたり、会話がなかったりすれば登下校時や屋内での読書などでもマスクを着用しなくてよいとしています。

これから学校では、縮小傾向だった教育活動を徐々に拡大していきたいと考えています。同時に、6月は1学期の中で、一番落ち着いて学習や運動に取り組める時期なので、何事にも意欲的に取り組めるように支援していきます。

今後とも教育活動へのご支援、ご協力をお願いします。

## ○PTA年度始総会 ～家庭と学校が1つになって活動します～

初めにPTA会長の挨拶があり、本部役員の方々の自己紹介がありました。次に校長の挨拶の後、学級担任等の紹介をしました。

議事では、本部をはじめ、会員・文化・安全・学年の各委員長から今年度の活動計画の説明がありました。また、本部から今年度の予算についての説明もありました。

子どもたちのためにPTAが一丸となって、できることをできる範囲で活動していきたいと思っています。



## ○年度始訪問 ～貴重な意見を教育活動に生かします～

西部教育事務所と甘楽町教育委員会の方々をお迎えし、年度始訪問を行いました。

今回は主に、①タブレットの効果的活用、②先生方の多忙化解消、③先生方の職能成長支援と服務規律確保、④コミュニティスクールの推進等について意見交換を行いました。

今回の訪問で説明や指導を受けたことを全教職員で情報共有し、共通理解を図りながら、今後の教育活動に生かしていきます。



## ○東毛青少年自然の家 ～甘楽町から初めての入所です～

今年度、甘楽町の3つの小学校の5年生は、太田市藪塚町にある東毛青少年自然の家で野外活動を体験しました。

午前中は、4～5人のグループに分かれて、うどんを打って食べました。自然の家の職員の説明を聞いてから、粉をこねて塊を作り、足で踏んでこねて、生地を伸ばして5mm位の幅に切り、ゆでました。野外で、友だちと協力して打ったうどんは、格別においしかったです。

午後は、うどん打ちとは別のグループで、「ポスト探しゲーム」を行いました。地図を頼りに話し合いながら進む道を決めて、ポストを見つけて、そこにある記号を台紙に記入しました。また、3つのボーナスポイントでは、教員が出題する問題に答えました。見つけたポストの数と正解した問題の数の合計が得点になりました。

子どもたちは、どの活動も積極的に協力し合って取り組むことができました。

